

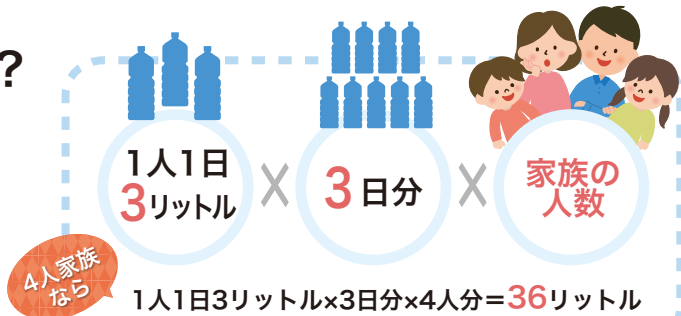
東日本大震災や平成28年熊本地震のような大きな地震災害をはじめ、平成30年7月豪雨や令和元年台風15号・19号などの風水害の時には、長期間にわたって断水が起こり、災害時避難所などでは飲料水を求める市民の方が長蛇の列となっていました。
こうした時のためにご家庭や事業所で飲料水の備蓄をお願いします。

1 なぜ備蓄が必要なの？

地震などの災害時、蛇口から水が出なくなった場合、水道局が給水車などにより水をお配りします。しかし、道路が寸断して給水車の到着が遅れたり、悪天候などによって、必要な水をすぐにお届けできるとはかぎりません。
また、応急給水のために行列に並び、ポリタンク等に入れた水を自宅まで持って帰ることは大変な労力です。
いざという時のために、日ごろから飲料水の備蓄をしておきましょう。

2 備蓄に必要な量はどのくらい？

人が生命を維持するために必要な飲料水の量は、1人1日あたり3リットルといわれています。3日以上を、ご家族の人数分を備蓄しておきましょう。



水道水の備蓄(くみ置き)方法

- ① ペットボトルやポリタンクなど、ふたのできる清潔な容器を用意し、十分に洗いましょう。
 - ② 水道水を直接蛇口から容器に入れ、空気が残らないよう、口元いっぱいまで満タンにしましょう。浄水器を通した水や煮沸した水ではなく蛇口から直接入れるようにしましょう。
 - ③ しっかりふたをし、直接日光のあたらない、冷暗所で保管しましょう。
 - ④ 水道水中の消毒用塩素が消失し、細菌が繁殖するおそれがありますので、3日程度で定期的に入れ替えましょう。
- *入れ替えた水は、洗濯や水やりなどにご使用ください。



水を運ぶためのポリ容器などの準備を

応急給水所に水を取りにくる際には、水を入れる清潔な容器(ポリ容器、ペットボトルなど)を持参しましょう。
また、ポリ容器などに入れた水を運ぶのはとても大変です。住環境に合わせて台車やリュックなど、水を運ぶ道具も用意しておくとう安心です。



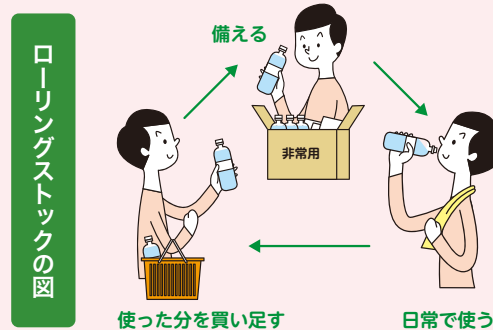
Check point

「ローリングストック」とは

災害に備えて、備蓄の必要性を感じている方も、実際に飲料水や食料を備蓄しておくことはなかなか難しいものです。

ローリングストックとは、**「備える」→「日常で使う」→「使った分を買い足す」**

ことを繰り返すことで、日常から一定量ストック(備蓄)しておく方法です。無理なく無駄なく消費期限を気にすることなく備蓄することができます。



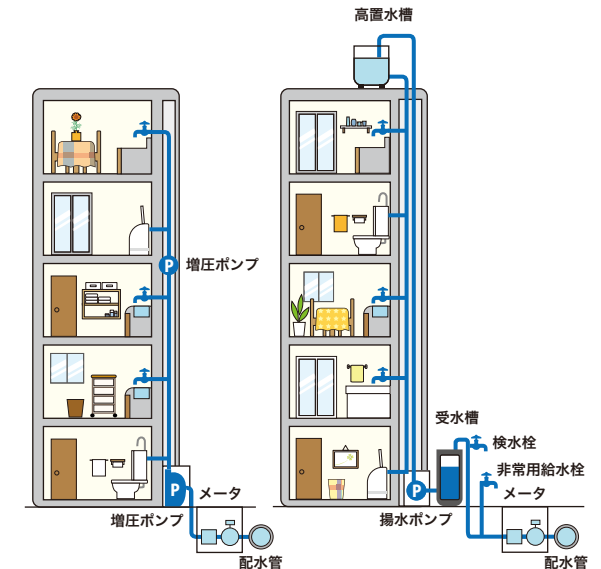
停電によるビル・マンション等の断水に備えましょう

ビル・マンション等の高層建築物では、水道管自体は断水していなくても、高層階まで水を送るためのポンプが停電により停止した場合、建物内で断水が起こります。

停電による断水の特徴

- 配水管が健全であればビル・マンション等でも2、3階程度まで(1階部分の集会所や共用の水栓など)は断水していない場合があります。
- 受水槽式では、停電時でも高置水槽内に水がある間は断水しませんが、高置水槽内の水がなくなると断水になります。
- ポンプ用の非常用電源設備をあらかじめ備えていたビル・マンション等では、停電時のポンプ停止による断水が起こってもすぐに断水を解消することができました。

ビル・マンション等の主な給水方式の例



直結増圧式

建物内の給水管の途中に増圧ポンプを取り付け、蛇口まで水道水を直接お届けする方法です。

受水槽式

いったん受水槽に貯水し、揚水ポンプを用いて高置水槽に水を送ったのち、蛇口まで水道水をお届けする方法です。

停電による断水に備えた対策

ビル・マンション等の居住者・利用者の方へ

- 停電により断水した場合は、まず、ビル・マンション等の管理者(管理会社)へ連絡しましょう。
- 停電時にはエレベーターも停止します。特に高層階への水の運搬は大変な作業となりますので、日ごろからご家庭で飲料水を備蓄しておきましょう。

ビル・マンション等の所有者・管理者の方へ

- ポンプ用の非常用電源設備を設置すれば、断水リスクが下がります。
- 直結増圧式では、配水管が健全であれば、2、3階程度までにある共用の水栓を、非常用給水栓として活用できます。
- 受水槽式で、受水槽手前に検水栓が設置されている場合、非常用給水栓として活用できます。
- 受水槽式のビル・マンション等においては、停電時等に建物全体が断水とならないように、直圧部からの分岐を非常用給水栓に限り設置することができます。(詳しくは水道局ホームページをご覧ください)

Check point

災害時の広報



水道局では、平常時から、ホームページ、Twitter、LINEを用いて災害に備える情報を随時発信しています。災害時にも、それらの多様な広報手段や広報車を利用して、応急給水等の生活に必要な情報をみなさまの元へお届けします。



水道局ホームページ



Twitter



LINE

